

オンライン書評を用いた「いのちの教育」に関連する 絵本についての調査

竹内 照 公

【はじめに】

生死やいのちを扱った絵本は、死生観や「いのちの教育」の伝達手段の一つと考えることができ、多くは長く読み継がれている。しかし、それらが一般の人々にどのように読まれているかを明らかにするのは簡単ではない。本がどの程度読まれているかは、売上などを参考にすることができる。しかし、生死やいのちを扱った絵本のように長く読み継がれている本にはなじみにくい。また、どのように読まれたかについては、新聞等のメディアに書評が掲載されることもあるが、多くは識者の考えを示したもので、一般の人々の受け止め方を直接表したものはいえなかった。

近年、インターネットの普及にともなって、一般の人々の書評や感想がインターネット上で閲覧できるように

なった。本が一般の人々にどのように読まれているかを、垣間みるのが可能になってきている。そこで、「いのちの教育」に関連する絵本が、どのように一般の人々に読まれているかを明らかにするために、「いのちの教育」に関連する絵本についてのインターネット上の書評を調査することにした。

インターネット上で閲覧することが可能な書評には、ブログをふくめた個人のサイトに掲載された書評、新聞や雑誌のようなメディアのサイトに掲載された書評、その他の団体のサイトに掲載された書評などがあるが、これらはいずれも不特定多数の一般の人々の書評が掲載されているとはいえない。これに対し、オンラインショップのレビューや書評サイトは、誰もが書評を投稿することができる。特に、オンラインショップでの書籍の流通の増加とともに、オンラインショップには、一般読者によるオンライン書評（レビュー）が掲載されるようになった。

オンライン書評には、複数のサイトがあるが、レビュー内容に加えて、レビューされた数、「星」の数で表した評価が掲載されている。そこで、レビューされた数を注目度の指標とし、「星」を評価の指標として、複数のサイトを調査することにした。この報告では、「いのちの教育」に関連する本についてのオンライン書評の調査結果を示すとともに、オンライン書評を通して書籍がどのように人々に読まれているかを検証することが可能であることを明らかにする。

まず、いのちの教育に関する絵本をリストアップし、ついで、オンライン書評を掲載しているサイトの中から、今回の調査を行うサイトを抽出した。それぞれのサイトのオンラインレビューの掲載方法について検討し、いのちの教育に関する絵本についてのオンライン書評について、各サイトを調査した。その結果を報告するとともに、この手法について考察する。

【いのちの教育に関連する絵本のリストアップ】

「いのちの教育に関連する絵本」に該当する書籍を抽出するために、「いのちの教育」ないし「死生」「生死」に関連する「絵本」のリスト入手を、こころみた。google scholar 上で2012年8月3日に検索を行ったところ、「生死 絵本」で309件、「死生 絵本」で95件、「いのちの教育 絵本」で26件が該当した。これらについて目視にて絵本のリストが収載されているかを調べたところ、片桐^①および尾上・中根^②の2論文が該当した。

片桐は、生と死をテーマとした絵本の収集を行い90冊を入手したと報告し、「絵本の構成を基にした分類」と、「テーマによる絵本の分類」を表としてまとめている。和文ないし日本語訳の絵本は47冊である。

尾上・中根は、「いのち（生と死）の絵本・カテゴリ」という表をまとめている。この表の作成や掲載について、どのような絵本が選ばれているのか根拠は明示されていない。片桐が取り上げなかった絵本について、尾上・中根の表の死に関連するカテゴリに挙げられた絵本を追加した。

片桐が取り上げた絵本の全ての存在は確認できたが、尾上・中根が取り上げた絵本は存在が確認できなかったり、絵本を特定できないものがあった。存在が確認された53冊を調査した。

【オンライン書評の調査】

オンライン書評では、新聞や雑誌の書評と異なり、一般の読者の評価を知ることができる。今回、オンライン書評としてオンラインショップ上のカスタマーレビューとブックレビューコミュニティを対象とすることにした。オンライン書評の内容や質は様々で、「オンライン書評」という言葉も、市民権を得た言葉とは言いがたい。

原田らは、オンライン書評として、今回の調査で取り上げたオンラインショップ上のカスタマーレビューのほか、ブログなどの掲載された書籍への批評や感想を挙げ、新聞書評やネット上のブログ書評、オンラインショップ上のカスタマーレビューの比較を行っているが、ブックレビューコミュニティへの言及はなかった。

今回の調査では、オンライン書評としては、オンラインショップであるamazon.co.jp⁴および楽天ブックス⁵上のカスタマーレビューと、ブックレビューコミュニティであるブックログ⁶を対象とした。

調査の項目は、カスタマーレビューの数、カスタマーレビューの書き込み間隔、およびカスタマーレビューの星の数とした。レビューの数および、レビューの書き込み間隔は、注目度を反映する指標になり、星の数は評価の指標になると考えた。加えてamazon.co.jp⁴について、ベストセラーランキング（本の順位）を調査した。ブックログについては登録数を調査した。

調査項目のうち、レビュー間隔は、1ページ目に表示されたレビューの平均書き込み間隔とした。amazon.co.jp⁴、楽天ブックス、ブックログも、星を用いた評価は同じ形式で、良いものは星5つで、悪いものが星1つであった。星5つおよび星4つと判断した評価の割合を全体の評価数で割った値を「良評価率」と定義して算出した。

【調査結果】

amazon.co.jp⁴、楽天ブックス、ブックログにて、2012年8月3日に、書名から検索を行った。同じものが再出版などにより複数検索されてしまう場合、レビュー数が多いものを選択した。その基準で選んだ結果、現在流通しているものが選択された。書籍コードで検索した場合、再出版などで異なるコードがつけられていることがあり、適切に検索することは困難だった。

対象とした3サイト以外のサイトについても調査をこころみだが、3サイトのみを調査結果の報告対象とした。調査対象から除外されたサイトのうち、絵本ナビは、絵本専門のオンラインショップで、レビューを掲載している。レビューや掲載の形式は、今回調査した3つのサイトと共通である。しかし、絵本に旧版と新版があるような場合、適切に整理されておらず、検索やレビューの閲覧を適切に行うことができなかったため除外した。e-hon⁽⁸⁾は、書店店員のレビューが掲載されているが、一般の人々のレビューが掲載されているわけではないので、除外した。その他、honto、ビーケーワンなどにも、レビューは掲載されていたが、統廃合の過程にあり除外した。3サイトでの調査結果をもとに、レビュー間隔を算出した。新着レビューとして1ページに表示された件数は、amazon.co.jpで10件、楽天ブックスで15件、ブックログで25件だった。この件数を超えて複数ページにおよぶレビューの多い絵本については、「レビュー間隔（実測）」として、新着レビューとして1ページ目に表示された「最新のレビュー日」から「表示された最初のレビュー日」の日数を「1ページ表示レビュー数」から1を減じたもので割って算出した。「レビュー間隔（仮想）」は、「表示された最初のレビュー日」から調査日までの日数を「1ページ表示レビュー数」で割ったものである。1ページ表示件数以下の少数レビューの場合は、「レビュー間隔（実測）」として、「最新のレビュー日」から「最初のレビュー日」の日数を「レビュー数」から1を減じたもので割って算出し、「レビュー間隔（仮想）」として、「最初のレビュー日」から調査日までの日数をレビュー数で割って算出した。レビューが1件のものは、「レビュー間隔（仮想）」として、「レビュー日」から調査日までの日数を算出した。

複数ページにわたる多くのレビューがある場合に、「レビュー間隔」を新らしいものに限定して算出したのは、インターネット利用者が増加してレビュー数が増加傾向にあることや、出版からの時間が経って注目度が変化し

ていることを考慮し、最近の傾向に限定するためである。「レビュー間隔（仮想）」は、調査日に書き込みがあったと仮定した場合の間隔で、これは、レビューが1件のものとの比較を念頭において算出した。

調査結果および算出結果を表にまとめた。リストは、amazon.co.jpの「ベストセラーランキング 本」の順位でならべた。

『100万回生きたねこ』が圧倒的にレビューをされていた。それに続いて、『わすれられないおくりもの』、『ずっとずっと だいすきだよ』、『葉っぱのフレディ』、『いつでもあえる』、『スーホーの白い馬』、『かたあしだち』、『ミッフィーのおばあちゃん（うさこちゃんのだいすきなおばあちゃん）に改題再出版』、『だいたいじょうぶだよ ゾウさん』、『のにつき 野日記』などが続いている。

レビュー数と、レビュー間隔には、乖離があり、時期により注目度が異なっていることを示唆する。

星を用いた評価については、3サイトで同じ形式だった。良いものは星5つで、悪いものが星1つであり、比較可能と考えられた。ブックログには、amazon.co.jpへのリンクがあり、提携が行われているが、レビューも星を用いた評価も独立である。

オンラインショップであるamazon.co.jpと楽天ブックスを比較すると、星による評価についても同じ傾向があり、いずれも、高い評価である。amazon.co.jpの方が楽天ブックスよりも多くの絵本がレビュー対象となっている。なお、楽天ブックスでは、レビュー数が3未満については、平均評価の星の数を算出していない。

ブックログについては、星による評価が異なっている。星5つおよび星4つと判断した評価の割合を全体の評価数で割った値を「良評価率」とすると、ブックログは低い。これは、オンラインショップであるamazon.co.jpや楽天ブックスでの星の評価に比べると、ブックログでは、星3つが多いためである。

表 「いのちの教育」に関連する絵本のオンライン書評についての調査結果

書名	amazon.co.jp					楽天ブックス					ブックログ						
	レビュー期間 (単位: 日) 3)					レビュー期間 (単位: 日) 3)					レビュー期間 (単位: 日) 3)						
	レビュー数	実質	信頼	星	良評率(%)	レビュー数	実質	信頼	星	良評率(%)	レビュー数	実質	信頼	星	良評率(%)	登録数	
100万回生きたねこ	225	18	20	4.55	0.90	772	355	8	8	4.73	0.95	848	3	3	4.19	0.67	4052
わずれられないおくりもの	48	94	103	4.75	0.94	997	97	57	44	4.82	0.96	201	11	11	4.19	0.67	1090
ずーっと ずっと だいすきだよ	50	36	39	4.90	0.98	3223	65	48	52	4.83	0.97	137	18	18	4.14	0.67	719
葉っぱのフレディ	47	163	164	4.36	0.83	6802	35	64	58	4.73	0.94	124	17	16	3.81	0.53	654
いつでもあえる	107	45	45	4.86	0.98	7964	56	50	50	4.75	0.96	227	19	19	4.08	0.62	1049
スーホーの白い馬	27	108	105	4.93	1.00	16041	30	105	106	4.85	0.96	116	21	21	3.84	0.52	666
かたあしだちようのエルフ	16	246	262	4.94	1.00	17321	24	110	112	4.86	1.00	54	41	42	4.09	0.65	262
もういちど会える	4	1098	983	4.75	1.00	42339	6	155	402	4.67	0.83	1	2026	4.11	0.56	13	
ミッフィーのおばあちゃん 2)	5	220	265	4.80	1.00	57522	1		492			12	119	114	4.14	0.67	54
ダギーへの手紙	5	357	278	4.60	1.00	77508	0					5	548	470	3.33	0.27	23
海のいのち	3	220	177	4.67	1.00	92590	4	160	29	5.00	1.00	5	142	134	3.82	0.55	24
ひかりの世界	6	724	673	5.00	1.00	97226	6	271	339	5.00	1.00	6	266	338	4.19	0.63	26
だいじょうぶだよ ソウさん 1)	12	174	122	4.83	1.00	106630	27	71	66	4.50	0.85	27	76	74	4.06	0.67	108
のにつき 野日記	5	666	597	4.40	0.80	122229	3	751	614	5.00	1.00	12	97	95	4.37	0.79	37
マローンおばさん 1)	6	711	642	5.00	1.00	126221	1		927			3	476	350	3.59	0.35	35
ぶたばあちゃん	6	306	283	4.67	1.00	137306	3	30	334	4.33	0.67	20	147	140	4.11	0.69	70
1000の風 1000のチェロ	6	513	661	4.67	1.00	140756	2	970	1049			23	118	115	3.96	0.57	113
岸辺のふたり	13	286	294	4.77	1.00	147499	1		1750			16	179	171	3.74	0.41	100
ことりのいのち	0					174033	2	13	884			1	1908	5.00	1.00	1	
おにいちゃんのお笛	5	902	735	4.80	1.00	182649	2	567	1168			9	326	309	4.19	0.67	42
おにいちゃん	5	796	746	5.00	1.00	215393	3	564	788	3.67	0.67	16	126	136	3.79	0.56	101
ぞうのさんすう	4	857	741	3.75	0.75	223194	5	389	318	4.60	0.80	13	233	219	3.69	0.48	54
おにいちゃん わずれないよ	5	785	712	4.60	1.00	234775	2	1253	828			5	420	335	3.56	0.39	40
ぼくらのいち	2	1288	1664	4.50	1.00	249597	0					2	139	337	3.25	0.13	19
さよならエルマおばあさん	10	408	371	4.90	1.00	271146	1		910			13	212	204	4.31	0.72	64
老夫婦	6	702	658	4.67	1.00	295712	0					5	352	531	3.50	0.30	39
ふたごのき	6	350	453	4.67	1.00	299018	0					2	1169	932	3.44	0.28	42
街のいのち	2	497	1063	5.00	1.00	341407	2	46	1019			0					2
アニーとおばあさん	1		903	5.00	1.00	383496	掲載無し					3	859	734	3.30	0.20	13
きみにあえてよかった	3	340	1106	5.00	1.00	390489	0					3	217	284	4.17	0.83	11
星空のしるし	2	1645	1698	5.00	1.00	399422	1		562			3	210	809	3.75	0.38	10
ポケットのなかのプレゼント	3	349	1028	5.00	1.00	402189	0					1	286	3.00	0.00	5	
黒グミのからなかになに 1)	6	217	295	3.67	0.83	406110	0					17	102	107	3.85	0.65	49
ひとりぼっちじゃないよ	0					419723	0					1	337	4.00	0.67	6	
「死」って、なに? かんがえよう、命のたいせつさ	0					450179	0					1	673	3.67	0.33	6	
リリがのこしてくれたもの	1		786	5.00	1.00	477580	0					1	538	4.00	0.50	6	
おにいちゃんがついてよかった	2	1169	589	4.50	1.00	485613	0					3	476	494	3.36	0.27	27
ジュニー・エンジェル	1		3165	4.00	1.00	505672	0					1	2662	3.25	0.25	4	
いきてるって どんなんこと? 1)	1		990			508174	0					1	1374	3.25	0.25	19	
ちいさなとりよ1)	2	293	1530	4.50	1.00	524121	0					4	887	683	3.82	0.64	25
レアの星	2	2745	1612	4.50	1.00	618490	0					1	48	3.57	0.43	18	
ありがとうファクログいさん	2	0	2049	4.50	1.00	697775	0					4	810	635	4.33	0.67	9
おねえちゃんは天使	2	1721	1371	4.50	1.00	740872	1		1798			2	1463	1378	4.00	0.56	18
おばあちゃん	1		1710			766470	0					2	542	762	4.00	0.50	8
「さよなら」を大切な人にいふんだ	0					780321	0					0					0
どこにいるの、おにいちゃん	0					1091313	0					2	2351	1193	3.50	0.50	7
天国からやってきたねこ	1		2319	5.00	1.00	1116479	0					1	542	4.00	0.50	3	
おばあちゃんといつもいっしょ	0					1148534	0					0		3.00	0.00	4	
月にとんだ猫	1		2956	5.00	1.00	1205626	1		2367			1	708	1.50	0.00	6	
ロン	0					1234435	0					0					0
あたしのいもうと	0					1239581	0					2	310	191	4.00	0.50	2
ベッレと二枚のてぶくろ	0						0					0					0
ホレおばさん 1)	0						0					0					1

1) 尾上・中根 (文庫2) のリストのみに掲載された絵本, それ以外は, 片桐 (文庫1) のリストからの絵本

2) 「つさこちゃんのだいすきなおばあちゃん」に改題再出版

3) 計算式は本文参照

【考察】

オンライン書評は、書籍がどのように読者に受け入れられているかを明らかにするツールになる可能性がある。書き込まれたレビューの内容や構造を自動的に解析することが可能になりつつあるが、今回は、レビューの頻度や星の数、売れ行きや登録数などを指標にした。

・対象となる絵本のリスト化

今回は、「いのちの教育に関連する本」についての調査を先行研究を参考に実施したが、関連書籍のリスト化が必要な場合、検索によって系統的に抽出するか、既存のリストを使用することになる。参考にした先行する²論文のうち、片桐¹は、自らが入手した絵本で、これは、convenient sampling²といえる。尾上・中根²は、取り上げた絵本の基準を明示していない。これらはいずれも、悉皆調査とはいえず、合理性のあるリスト化の基準もないという制約がある。今後、検索によって書籍のリスト化を自動的に再現性をもって実施することが可能となれば、同様の調査の妥当性は高まると思われるが、現状では、検索によって系統的に抽出することは難しい。

・レビューを書き込んだ人

今回オンライン書評を調査した3サイトは、いずれも広く一般の人々によるレビューを掲載している。しかし、あらゆる一般の人々がレビューを書き込む訳ではない。ほとんどの読者は記入せず、記入する読者は特殊である可能性がある。レビュー者のプロフィールが記入できるはずだが、ほとんどは記入されていない。カスタマー

のデータは、オンラインショップならびにコミュニティの運営者は把握しているものと思われるが、そのデータの使用は難しい。ただ、個々のレビュー者が記入した書評の一覧を表示することが可能であり、分析の対象として有用性がある。また、インターネット上のオンラインショップやブックレビューコミュニティでは、対象者は大人に限られており、おそらく、子どもによる書評はほとんどない。「いのちの教育」という観点からの絵本の評価としては、制約になっている。

今回は、調査を断念したが、絵本ナビ^⑦は、レビューの立場を、「ママ」、「パパ」、「じいじ・ばあば」、「せんせい」、「その他の方」、「絵本紹介サイト」に分類して表示できる機能を有している。また、edon^⑧のレビューは、書店店員によるものである。立場を明確にしてレビューを掲載するというのは、分析対象として興味深いだけでなく、レビューを閲覧する人に対して情報を適切に提供することに役立つと思われる。

・レビューの書き込み時期

書き込まれたレビューの数やレビューの間隔は、注目度の高さやその変遷を知る上での指標になると考えて調査した。レビューに付された日付は、時系列にそった分析を可能にする。今回は行っていないが、今後、時代的な背景を考慮した分析に発展させられる可能性がある。

レビューに、「いつ読んだか?」「最初に読んだのはいつか?」「読み返したか?」というような情報がないが、書き込み時の項目として追加したり、表現から自動抽出すると、どのように読まれているかがより明らかになる。特に、絵本においては、こどもの時に最初に読んでいる可能性があり、その体験をレビューを通じて観察することができ、間接的ではあるが、こどもへの影響を明らかにすることができる。

・星の数

いずれのサイトも、星の数で評価が数値化されている。星の数で評価を数値化することには、一見するとメリットがあるようであるが、今回調査した限り、いずれも高い評価を得ていて、差を見出すことはできなかった。肯定的な人がレビューを記入するというバイアスが存在する可能性がある。

オンラインショップと、ブックレビューコミュニティで「星3つ」の出現頻度が異なっている点は興味深かった。レビューに対する姿勢の違いが反映しているものと思われる。しかし、いずれも低い評価は少ない。

この他の数値化されている指標としては、「このレビューが参考になった」という投票の結果が表示されている。今回は、調査対象としなかったが、書籍への肯定的な意見、レビューへの肯定的な意見、購買などへの行動への関連が、「このレビューが参考になった」に反映されていると考えられた。

・amazon.co.jpのランキング

表は、amazon.co.jpの「ベストセラーランキング 本」の順位でならべた。このランキングの基準などは公表されていない。ランキングの方法は、少しづつ変わっていると言われているが、最後にその本が売れてからの期間を反映しているのではないかと言われている。ある本が買われると、その瞬間、1位にランキングされる。しかし、次々に別の本が買われているいくつので、ランキングは低下していき、また買われると1位になるというサイクルが繰り返されている⁽⁹⁾。このランキングは1時間毎に更新されているといわれており、公表されている順位は変動する。おおむね、本が売れる頻度を反映した順位が表示されることになる。

この調査は、一日をかけて手作業で行われたものであるから、その間にも変動する。しかし、対象となった絵

本は、急激に売上を伸ばしているような本ではないため、おおむね市場の中で、どのような位置をしめているかを知ることができる指標であると考えて、表をリスト化する上での順番については、amazon.co.jpの「ベストセラーランキング 本」に従った。

・オンライン書評の内容についての調査の可能性

今回は、書評の内容の分析を行っていない。オンライン書評は、本の内容への批評から、感想、想起されたことなど、着眼点も構造もバラバラである。その書籍がどのような読まれ方をしているかは、肯定的評価にしろ否定的評価にしろ、書籍への評価だけではなく、書籍を通じた体験や書籍に関連した体験への評価が混ざってしまっている。社会的な事件によっても変動しやすい。特に、今回対象とした死生に関連する書籍の場合、グリーフワークの側面もある。書き込まれた動機や、何を主張しようとしているかという観点からの整理が不可欠である。今後、原田^③が議論しているように、表現の自動抽出のような手技が発展すると、レビューの内容や構造についての分析をより高度に行える可能性がある。このとき、レビューを書き込んだ人のプロフィールや、書き込まれた時期の時代的な背景は、重要な分析の要素であり、レビュー内容との関連が明らかになることが期待される。

・手法の応用

この手法は、様々な分野の書籍に応用が可能である。しかし、レビューを書き込む人によるバイアスや、レビューを書き込む動機など、複雑な背景を持っている。宗教書、仏教書のような書籍についてこの手法を応用する場合には、「いのちの教育」に関連する絵本同様、内容への批評だけでなく、書き込んだ人の考えや経験などが

絡むことから、注意が必要になる。

【まとめ】

書籍の評価にオンライン書評が有用であることを示した。関連する書籍を網羅的に調査する場合、適切なリストが必要であるが、妥当性の高いリストを簡単に入手できるとは限らない。今後、自動的に検索される仕組みなどを開発する必要がある。オンライン書評サイトは、複数あるが、傾向は似通っている。書評にはバイアスがかかっている可能性がある。オンライン書評は、時間の軸で観察できる。書き込みをした人のプロフィール、書き込みされた時期という要素を考えることが重要である。また、書き込みの動機も様々で、今回、対象とした「いのちの教育」に関連する絵本でも、様々な動機が考えられた。今後、内容の自動分析が可能になると、オンライン書評の分析が発展する可能性がある。

〈キーワード〉いのちの教育 絵本 書評 オンライン書評

オンライン書評を用いた「いのちの教育」に関連する絵本についての調査

参考文献

- (1) 片桐史恵「絵本から学ぶ生と死」『中部学院大学・中部学院大学短期大学部研究紀要』6:11-119, 2005
- (2) 尾上明子、中根淳子「生と死の絵本をめぐって(1)」『名古屋柳城短期大学研究紀要』31:33-42, 2009
- (3) 原田隆史、吉村紗和子「オンライン書評と従来の書評との違いの分析」『情報知識学会誌』20(2), 65-72, 201
- (4) <http://www.amazon.co.jp/>
- (5) <http://books.rakuten.co.jp/>
- (6) <http://booklog.jp/>
- (7) <http://www.ehommavinet/>
- (8) <http://www.e-hon.ne.jp/>
- (9) 服部哲弥『Amazonランキングの謎を解く：確率的な順位付けが教える売上の構造』化学同人(2011/5/30)

インターネットサイトは、いずれも2012年8月3日に調査のためにアクセスした。2015年1月29日現在、存在を確認している。

